

答え合わせ・解説

問1	答え 4 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が権力を握った時代を安土桃山時代と呼び、この時期の文化は「桃山文化」と称されます。力強い筆致や豪華な色彩を特徴とする屏風画は、新興の武士や豪商の活力を反映しており、狩野永徳はその代表的な絵師です。天平文化は奈良時代、元禄文化と化政文化は江戸時代の文化を指します。
問2	答え 4 明智光秀	織田信長は、天下統一を進める過程で家臣の明智光秀による謀反に遭い、本能寺において自害した。この事件は、1575年の長篠の戦いから7年後、また豊臣秀吉が1590年に関東の北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げる以前の出来事である。
問3	答え 4 太閤検地	それまでバラバラだった土地の測量基準を全国で統一し、一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を登録しました。これにより、古い時代の荘園制度が完全に消滅し、農民から直接年貢を徴収する仕組みが確立されました。
問4	答え 4 ルターは聖書のドイツ語訳を行い、誰もが聖書を読めるようにすることで、教皇の権威を介さない信仰を広めた。	ルターは「万神父主義」を掲げ、信仰の唯一の根拠を聖書に置きました。当時、ラテン語で書かれていた聖書をドイツ語に翻訳し、印刷術の普及によって民衆に広めたことが、宗教改革が急速に拡大した大きな要因の一つです。スイスのカルバンは予定説を唱え、商工業者の営利活動を肯定するなど、ルターとは異なる背景で改革を推し進めました。
問5	答え 1 織田信長	室町幕府の第15代将軍であった足利義昭を京都から追放したことで、長らく続いた室町時代の政治体制を終わらせました。その後、安土城を拠点に天下統一を推し進め、中世から近世へと日本の歴史を大きく転換させる役割を果たしました。
問6	答え 3 文化復興運動によって科学技術が発展し、遠洋航海が可能になったことで、欧州人がアジアへ進出した。	ルネサンスによる科学技術の向上が大航海時代を支える基礎となりました。これによりポルトガル人やスペイン人がアジアへ進出し、その過程で種子島への鉄砲伝来や、フランシスコ・ザビエルによるキリスト教布教が実現しました。他の選択肢は、それぞれ産業革命、市民革命、宗教改革の内容であり、時期や直接的な背景が異なります。
問7	答え 4 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。	石見銀山では、16世紀に博多の商人らによって朝鮮半島から「灰吹法」という高度な精錬技術が伝えられました。これにより高品質な銀の大量生産が可能になり、日本の銀は東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を担うようになりました。田中正造が訴えたのは栃木県の足尾銅山での鉱毒事件についてです。
問8	答え 1 長崎がイエズス会領となっていたことや、日本人が奴隷として海外へ売られている実態を秀吉が知ったため	九州平定を行っていた豊臣秀吉は、長崎がイエズス会に寄進されて教会領になっていることや、日本人が奴隷として海外へ売られている実態を知り、強い危機感を抱きました。これを受け、キリスト教の布教が天下統一の妨げになると判断し、宣教師の国外退去を命じる「バテレン追放令」を発令しました。一方で、ポルトガルとの貿易（南蛮貿易）については、利益を重視して継続を認めました。
問9	答え 3 免罪符	当時のローマ教会は多額の建築資金を必要としており、金銭で罪の許しを売る免罪符（贖宥状）を販売していました。ルターはこれに対し「九十五ヶ条の論題」を発表し、信仰は金銭ではなく神の恵みと聖書に基づくべきだと強く抗議しました。これが宗教改革の出発点となりました。
問10	答え 4 種子島	1543年に九州の南方にある種子島へポルトガル人を乗せた船が漂着した際、当時の島主が鉄砲を買い取ったことで日本にその技術がもたらされました。選択肢にある平戸は江戸時代初期の対外貿易港、堺や博多は中世から栄えた自由都市であり、鉄砲の生産地としても知られるようになりますが、最初に伝来した場所は種子島です。
問11	答え 2 ポルトガルが確保していたアフリカ南端を回る東回り航路に対抗し、アジアの香辛料産地への独自ルートを確保するため	15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルがアフリカ南端の喜望峰を回ってインドへ到達する「東回り航路」を独占していました。これに焦りを感じたスペインは、地球が球体であるならば西へ進んでもアジア（モルッカ諸島などの香辛料産地）に到達できると考え、マゼランの航海を支援しました。この航海の成功によって、スペインは西回りのルートを確立し、世界規模の貿易競争を激化させることになりました。
問12	答え 4 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍勢力や経済力を高めようとした。	織田信長は、領地内に数多く存在した関所を廃止することで人や物の動きを自由にしました。これと同時に「楽市・楽座」を行うことで、古い特権を持つ「座」の力を抑え、経済を活性化させました。これらの政策は、商人の支持を得るだけでなく、城下町を兵站（物資の補給）の拠点として機能させ、天下統一を推し進める原動力となりました。
問13	答え 2 ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した	コロンブスらの到達以降、ヨーロッパからそれまでアメリカ大陸には存在しなかった天然痘、はしか、インフルエンザなどの感染症が持ち込まれました。これらの病気に対して免疫を持たなかった先住民は、植民地支配による過酷な労働や武力衝突と相まって、極めて短期間のうちに人口を大きく減らすこととなりました。この労働力不足を補うために、後にアフリカから多くの人々が奴隷として連れてこられるという歴史的背景があります。

- 問1 豊臣秀吉は、太閤検地によって土地の生産力を石高で表し、刀狩によって農民から武器を没収しました。これらの政策を通じて、戦う役割を持つ武士と、農業に従事して年貢を納める百姓の身分の区別を明確にしたことを何といいますか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- 兵農分離
 - 寄合
 - 班田収授
 - 守護領国制
- 問2 1575年に三河国で行われた、織田信長・徳川家康の連合軍と武田勝頼の軍勢による戦いについて、その内容を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用し、当時最強といわれた武田氏の騎馬隊を破った。
 - 伊能忠敬が作成した精密な日本地図を活用し、織田信長が武田軍の背後を突いて勝利した。
 - 北条時宗が元寇の際に築いた防塁の跡を戦場として利用し、武田氏の侵攻を食い止めた。
 - 平清盛が日宋貿易によって手に入れた最新の武器を織田信長に提供し、武田氏を退けた。
- 問3 安土桃山時代から江戸時代初期にかけてのキリスト教の動向について、1587年のバテレン追放令発令時（信者数約20万人）と、1601年の状況（信者数約30万人）を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- バテレン追放令と同時に貿易も全面的に禁止されたため、キリスト教の影響力は消滅した
 - 豊臣秀吉による厳しい弾圧が即座に効果を発揮し、16世紀末には信者数は激減した
 - バテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた
 - 1601年の時点では、徳川家康による鎖国令が全国に徹底されていたため信者数は減少した
- 問4 15世紀末、アフリカ南端の喜望峰を經由してインドへ到達する直接航路を開拓し、香辛料貿易において重要な役割を果たした人物を、次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- コロンブス
 - マゼラン
 - ヴァスコ・ダ・ガマ
 - アメリゴ・ヴェスプッチ
- 問5 16世紀のドイツにおいて、ルターがカトリック教会の権威に異議を唱えて始めた宗教改革では、ある技術の普及が自身の考えを広める大きな助けとなりました。この改革を支持し、教会の教えよりも「聖書」を信仰のよりどころとした人々を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- ピューリタン
 - カトリック
 - プロテスタント
 - イエズス会
- 問6 織田信長が天下統一事業の拠点として、琵琶湖の東岸に築いた城郭を何といいますか。近世における城郭建築の先駆けとなり、高くそびえる豪華な天守を備えて自身の権威を象徴した城の名称を選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- 姫路城
 - 大阪城
 - 安土城
 - 江戸城
- 問7 豊臣秀吉が行った「刀狩」の目的と、その結果もたらされた社会の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- 全国の土地の広さや質を調査することで、年貢の負担を公平にし、大名の軍役を明確にした。
 - キリスト教の布教が領主と領民の結びつきを強めることを警戒し、宣教師の国外追放を命じた。
 - 商工業者への課税を免除して座の特権を廃止することで、城下町の商業を活性化させた。
 - 百姓から武器を奪って一揆を防止するとともに、武士と百姓の身分を明確に区別する兵農分離を進めた。
- 問8 16世紀のヨーロッパでは、ドイツのルターらがローマ教皇の権威やカトリック教会の腐敗を批判したことをきっかけに、宗教改革が始まりました。この宗教改革によって新たに成立した勢力と、これに対抗してカトリック側が設立し、ザビエルらが属して日本への布教を行った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- 新たに成立した勢力：イスラム教、日本へ布教した組織：イエズス会
 - 新たに成立した勢力：プロテスタント、日本へ布教した組織：十字軍
 - 新たに成立した勢力：プロテスタント、日本へ布教した組織：イエズス会
 - 新たに成立した勢力：正教会、日本へ布教した組織：テンプル騎士団
- 問9 15世紀末、スペインの援助を受け、大西洋を西へ航海してカリブ海の島々に到達し、そこをインドの一部であると信じた人物は誰ですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- バスコ・ダ・ガマ
 - マルコ・ポーロ
 - マゼラン
 - コロンブス
- 問10 織田信長の活躍から豊臣氏の滅亡に至るまでの歴史的な流れを整理した際、本能寺の変が起こった時期の説明として最も適切なものはどれか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、江戸幕府を開いた後の時期
 - 桶狭間の戦いで今川義元を破った直後の時期
 - 長篠の戦いで武田氏を破った後、豊臣秀吉が天下を統一する前の時期
 - 豊臣秀吉が関東の北条氏を滅ぼし、天下統一を完成させた直後の時期
- 問11 豊臣秀吉が、全国の田畑の面積や収穫量を調査した「太閤検地」と、農民から武器を没収した「刀狩」を徹底して行った目的は何ですか。武士と農民の身分を明確に区別し、一揆を防ぐとともに安定した税収を確保しようとした仕組みの名称を答えなさい。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- 兵農分離
 - 座の結成
 - 班田収授の法
 - 参勤交代
- 問12 安土桃山時代における文化のあり方について、千利休が重んじた「わび茶」の精神やその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- 形にとらわれず、風景や庶民の日常生活をありのままに描こうとする精神
 - 幽玄な美を追求し、面や独特の所作を用いて物語を演じる精神
 - 金銀をふんだんに使い、城郭の障壁画に見られるような豪華絢爛さを極める精神
 - 華やかさを抑え、質素で静かなたずまいの中に深い美しさを見出すとする精神
- 問13 15世紀末から16世紀にかけて、ヨーロッパ人がアフリカ大陸の南端にある喜望峰を經由し、インドへ到達する直接の航路を開拓しました。この航路を開拓し、アジアとの直接貿易の道を開いた人物は誰ですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- ヴァスコ・ダ・ガマ
 - バルトロメウ・ディアス
 - コロンブス
 - マゼラン
- 問14 豊臣秀吉が役人を派遣して田畑の広さや等級を測らせ、その結果を記録して村ごとに作成させた、土地台帳の名称を何といいますか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- 土地台帳
 - 賦役黄冊
 - 戸籍
 - 検地帳

答え合わせ・解説

問1	答え 1 兵農分離	豊臣秀吉は、全国規模で土地調査を行う「太閤検地」と、農民から刀や脇差などの武器を取り上げる「刀狩」を連動させて実施しました。これにより、それまで農業を行いながら合戦にも参加していた「地侍」などの存在が消え、支配階級である武士と、生産者である百姓という二つの身分が制度的に固定されました。これが近世社会の基礎となる仕組みです。
問2	答え 1 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用し、当時最強といわれた武田氏の騎馬隊を破った。	長篠の戦いでは、織田信長が当時最新の兵器であった鉄砲を大量に導入しました。木製の柵を設置して武田軍の騎馬隊の突撃を防ぎつつ、足軽の鉄砲隊に一齐射撃を行わせるという組織的な戦法をとったことが勝利の大きな要因となりました。これは、それまでの個人の武勇に頼る戦い方から、組織的な集団戦へと日本の戦国時代の合戦のあり方を変える象徴的な出来事となりました。
問3	答え 3 パテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた	統計資料によれば、1587年のパテレン追放令から1601年にかけて、国内のキリシタンの数は約10万人増加しています。これは、追放令が貿易利益との兼ね合いで不徹底な運用に留まったことや、九州地方などを中心に信仰が深く根付いていたことが要因です。信者の減少や組織的な潜伏が本格化するのには、江戸幕府による禁教令や鎖国体制の整備が進んでからのことです。
問4	答え 3 ヴァスコ・ダ・ガマ	1498年、ポルトガルの支援を受けたヴァスコ・ダ・ガマは、アフリカ南端の喜望峰を回ってインド西岸のカレクトに到達しました。これにより、イスラム商人を介さずにアジアの香辛料を直接手に入れるルートが確立され、ポルトガルに莫大な富をもたらしました。
問5	答え 3 プロテスタント	ドイツのルターが免罪符（贖罪状）の販売を批判したことから始まった宗教改革において、グーテンベルクが発明した活版印刷技術が重要な役割を果たしました。この技術によってルターの考えやドイツ語に翻訳された聖書が急速に普及し、これまでの教会の権威に抗議（プロテスト）した人々は「抗議する者」という意味のプロテスタントと呼ばれるようになりました。
問6	答え 3 安土城	織田信長は、足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼした後、天下統一に向けた拠点として近江国の琵琶湖東岸にこの城を築きました。それまでの戦いのための山城とは一線を画し、高い石垣の上に豪華な天守を構えるなど、視覚的に支配者の権威を示す新しい城のあり方を提示しました。この城を中心に展開された文化は、後の桃山文化の形成に大きな影響を与えています。
問7	答え 4 百姓から武器を奪って一揆を防止するとともに、武士と百姓の身分を明確に区別する兵農分離を進めた。	刀狩は、検地とともに「兵農分離」を推し進めるための重要な政策です。これにより、戦いに従事する武士（支配層）と、農業に従事する百姓（被支配層）という身分の違いが制度的に固定され、中世の動乱から近世の安定した社会構造へと移行する大きな転換点となりました。
問8	答え 3 新たに成立した勢力：プロテスタント、日本へ布教した組織：イエズス会	16世紀、免罪符（贖宥状）の販売を批判したルターらの動きにより、カトリック教会から分離した「プロテスタント」が誕生しました。一方、勢力を失ったカトリック側は、内部改革と海外布教を目的として「イエズス会」を設立しました。その創設メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルが1549年来日し、日本にキリスト教を伝えました。
問9	答え 4 コロンブス	スペインのイサベル女王の援助を受けたコロンブスは、地球球体説に基づき、大西洋を西回りに航海することでアジアへ到達しようとしていました。1492年に現在のカリブ海にある島々に到達しましたが、彼はそこをアジアの一部（インディアス）であると誤認していました。同時代のポルトガルの支援を受けた航海者たちとは、目指したルートが異なります。
問10	答え 3 長篠の戦いで武田氏を破った後、豊臣秀吉が天下を統一する前の時期	織田信長が鉄砲を用いた戦術で武田氏を破った長篠の戦いは1575年であり、本能寺の変はその後の1582年に発生した。信長の死後、その事業を引き継いだ豊臣秀吉が1590年に関東の北条氏を降して天下を統一しており、本能寺の変はその中間に位置する出来事である。関ヶ原の戦いや豊臣氏の滅亡はさらにその後の時代にあたる。
問11	答え 1 兵農分離	豊臣秀吉は、太閤検地によって耕作者と収穫量を確定させ、刀狩によって農民から武器を取り上げました。これにより、農業に専念する農民と合戦に従事する武士の身分がはっきりと分かれる「兵農分離」が進み、近世の社会制度の基礎が築かれました。
問12	答え 4 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出そうとする精神	桃山文化は、壮大な城郭や豪華な金碧障壁画などに代表される一方で、千利休によって確立された「わび茶」は、余計な飾りを削ぎ落とした質素な美しさを追求しました。これは茶の湯の作法を単なる娯楽ではなく、精神的な修行の域まで高めたものです。金銀の装飾は桃山文化の別の側面（権威の象徴）であり、風景や日常の描写は江戸時代の浮世絵、幽玄の美は室町時代の能楽の特徴を指します。
問13	答え 1 ヴァスコ・ダ・ガマ	ポルトガル王の命を受けたヴァスコ・ダ・ガマは、1498年にアフリカ南端を回ってインドのカリカットに到達しました。これにより、イスラム勢力やイタリアの都市国家を介さずに、アジアの香辛料を直接ヨーロッパへ持ち帰ることが可能になりました。
問14	答え 4 検地帳	太閤検地によって作成された公式の記録を「検地帳」と呼びます。ここには田畑の所在、面積、等級（上・中・下・下々）、石高、そして実際に耕作を行う農民の氏名が記載されました。検地帳に名前が載ることは、その土地の耕作権を保証されることでもありましたが、同時に政府に対して年貢を納める公的な義務を負うことも意味していました。

問1 16世紀のヨーロッパで宗教改革が起こった背景と、その後の日本への影響についての説明として正しいものを選択してください。 (2021年

鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. アメリカ独立戦争の影響を受けて自由主義の思想が広まり、宣教師が民主主義を伝えるために日本を訪れた。 | 2. ルターがキリスト教を否定して新しい宗教を作ったため、行き場を失った旧来の信者が日本へ亡命してきた。 | 3. 聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還する運動が激化し、その軍資金を得るために日本との南蛮貿易が開始された。 | 4. 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。 |
|--|--|--|--|

問2 豊臣秀吉が実施した「太閤検地」が、後の江戸幕府にも続く社会の仕組みに与えた影響や目的について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の生産力を石高で把握することで、武士が負担すべき軍役の規模を明確にし、組織的な軍事体制を整える根拠とした。 | 2. 刀狩と同時に実施することで、農民から武器を没収する代わりに、石高に応じた軍役を農民にも課することを目的とした。 | 3. 戦国大名が独自に行っていた検地の方法を維持し、各地域の多様な税制を尊重することで地方自治を促進した。 | 4. 輸出入の統計資料において石高を基準とすることで、海外貿易における日本国内の生産力を対外的に示す指標とした。 |
|--|--|---|--|

問3 安土桃山時代の文化について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。千利休が作ったとされる茶室「待庵（たいあん）」の構造などの特徴も踏まえて答えなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。 | 2. 貴族の生活が中心となり、遣唐使の廃止に伴って日本独自の好みを反映した繊細な文化が栄えた。 | 3. 鎌倉時代に広まった仏教の影響を受け、素朴で力強い武士の精神を反映した文化が主流となった。 | 4. 江戸時代の町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などの華やかで親しみやすい文化が発達した。 |
|--|---|---|---|

問4 16世紀のヨーロッパでは、それまでのキリスト教のあり方を批判し、教会の改革を目指す運動が起こりました。この動きを受けてカトリック教会側が海外への布教を活発化させたことが、日本へキリスト教が伝来する大きな要因となりました。この一連の革新運動を何といいますか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|---------|-------------|
| 1. 産業革命 | 2. ルネサンス | 3. 宗教改革 | 4. ピューリタン革命 |
|---------|----------|---------|-------------|

問5 戦国時代から江戸時代にかけて、現在の島根県に位置するある鉱山では高品質な銀が大量に生産され、一時は世界の銀産出量の約3分の1を日本が占めていたと言われるほどの影響力を持っていました。2007年には世界文化遺産にも登録された、この鉱山の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 佐渡金山 | 3. 足尾銅山 | 4. 別子銅山 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 日本列島の主要な鉱山を整理した資料において、山陰地方（現在の島根県）に位置する鉱山が示されています。戦国時代から江戸時代にかけて開発され、豊臣秀吉が経済的基盤を固めるために直轄地とした、当時日本最大級の産出量を誇った銀山を選んでください。 (2023年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 佐渡金山 | 2. 生野銀山 | 3. 足尾銅山 | 4. 石見銀山 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 1587年に豊臣秀吉がバテレン追放令を出した背景と、当時の政策に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. キリスト教の布教が天下統一の妨げになると考えたが、ポルトガル等との南蛮貿易の利益は重視し続けた | 2. キリシタン大名による反乱を鎮圧するため、全国の領民に対して踏絵を強制し信者を見つけ出そうとした | 3. 天正遣欧少年使節の派遣をきっかけにヨーロッパの文化を積極的に取り入れるため、宣教師を優遇した | 4. キリスト教の教えが平和主義に基づいていることを警戒し、宣教師の追放と同時に南蛮貿易を一切禁止した |
|--|--|---|---|

問8 16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時期に栄えた文化の特色として、最も適切なものはどれか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 上方の町人を主な担い手とした、人間味豊かな文化 | 2. 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな貴族文化 | 3. 公家と武家の文化が混じり合い、禅宗の影響を強く受けた文化 | 4. 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化 |
|----------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|

問9 豊臣秀吉が農民から刀や脇指、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した「刀狩」の主な目的と、それによって進められた社会的な仕組みとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 全国の田畑の面積と収穫量を調査し、年貢を納める責任者を確定させること | 2. 座を廃止して商工業の自由な取引を認め、城下町の商業を活性化させること | 3. キリスト教の布教を禁止し、寺請制度を通じて民衆の思想を管理すること | 4. 一揆を未然に防ぐとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を確立すること |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|

問10 「文芸復興」とも呼ばれる14世紀のイタリアで興った文化運動において、当時の人々が目指した内容として最も適切な説明を選んでください。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 免罪符の販売などを批判し、キリスト教の信仰の在り方を正すこと | 2. 科学技術の向上によって、工場の機械化や生産体制の変革を進めること | 3. 理性に基づき、社会の偏見や旧来の制度を打ち破ろうとすること | 4. 古代ギリシャやローマの古典文化を復興させ、人間中心の文化を創造すること |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--|

問11 豊臣秀吉が全国を統一した時期の略年表において、政治的な動きと並行して「桃山文化」が成立したとされています。この時期に描かれた狩野永徳の作品などが、金箔をふんだんに使い、巨大で力強い表現を用いた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 1. 天下人や大名の圧倒的な権力や富を、視覚的に周囲へ誇示するため | 2. 鎖国によって海外との交流が断れたため、日本独自の控えめな美意識を追求したため | 3. 禅宗の影響を強く受け、質素で静かな「わび・さび」の精神を表現するため | 4. 戦乱による物資不足を補うため、安価で手に入りやすい金色の染料を多用したため |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|--|

問12 16世紀の世界において、スペインが支配した領域の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。当時の世界情勢や他国との関係を考慮して答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アフリカ南端のケープタウンを中継地とし、インド洋から東南アジアに至る海上の交易ルートを独占した。 | 2. キリスト教の布教を一切行わず、もっぱら南アメリカ大陸でのサトウキビ栽培を目的として領土を拡大した。 | 3. 北アメリカ大陸の東海岸を拠点として、イギリスやフランスの勢力と争いながら広大な植民地を維持した。 | 4. 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。	ドイツでのルターによる宗教改革をきっかけに、プロテスタント（新教）が勢力を広げると、危機感を抱いたカトリック（旧教）側は「対抗宗教改革」を行い、教会の内部改革とともに海外への布教に力を入れました。その中心となったのがイエズス会であり、その創立者の一人であるザビエルが日本にキリスト教を伝えました。つまり、日本の戦国時代にキリスト教が伝来した背景には、ヨーロッパにおけるキリスト教界の分裂という国際的な因果関係があります。
問2	答え 1 土地の生産力を石高で把握することで、武士が負担すべき軍役の規模を明確にし、組織的な軍事体制を整える根拠とした。	太閤検地によって導入された石高制の重要な目的の一つは、軍事力の体系化です。秀吉は、全国の土地の生産力を石高という統一単位で把握することで、どの大名や武士がどの程度の軍事負担（軍役）を担うべきかを数値に基づいて命令できるようにしました。これは、単なる徴税の仕組みではなく、政権が全国の武士を統制し、戦いに必要な人や馬を確実に確保するための高度な軍事・行政制度でした。
問3	答え 1 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。	桃山文化は、権力を象徴する豪華な城郭建築（姫路城や大阪城など）と、内面的な精神性を重んじる「わび茶」という、対照的な二つの面を併せ持っているのが大きな特徴です。千利休が設計した「待庵」はわずかに二畳の広さしかなく、余計な装飾を削ぎ落とした極めて簡素な空間となっており、当時の武士たちの精神的な支えとなりました。
問4	答え 3 宗教改革	16世紀のヨーロッパで始まった宗教改革により、カトリック教会を批判するプロテスタントの勢力が拡大しました。これに対し、カトリック教会側は自らの勢力を立て直すためにイエズス会などを組織し、アジアをはじめとする海外への布教活動を積極的に展開しました。その一環としてフランシスコ・ザビエルが来日し、日本にキリスト教が伝えられることとなりました。
問5	答え 1 石見銀山	島根県大田市に位置するこの鉱山は、16世紀に朝鮮半島から「灰吹法（はいふきほう）」という効率的な精錬技術が導入されたことで、銀の産出量が飛躍的に増加しました。ここで生産された銀は、当時の国際通貨として東アジアやヨーロッパとの貿易において重要な役割を果たしました。新潟県の佐渡金山、愛媛県の別子銅山、栃木県の足尾銅山など、他の有名な鉱山と位置や産出資源を区別して理解しておく必要があります。
問6	答え 4 石見銀山	山陰地方の島根県に位置するこの銀山は、16世紀に精錬技術である「灰吹法」が導入されたことで産出量が飛躍的に増大しました。天下統一を進める豊臣秀吉は、その膨大な富に着目して直轄地（蔵入地）とし、軍事費や外交、貿易の資金源として活用しました。2007年には世界文化遺産にも登録されています。
問7	答え 1 キリスト教の布教が天下統一の妨げになると考えたが、ポルトガル等との南蛮貿易の利益は重視し続けた	豊臣秀吉は、宣教師が神社仏閣を破壊したり、日本人が奴隷として海外へ売られたりしている現状を知り、キリスト教を警戒しました。しかし、貿易による経済的・軍事的利益は求めていたため、宣教師の追放を命じつつも、貿易自体は禁止しないという使い分けを行いました。
問8	答え 4 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化	この時代は、天下統一を目指す戦国大名の強大な権力や富を背景に、力強く華やかな文化が形成された。姫路城などの壮大な城郭建築や、金箔を多用した障壁画はその象徴である。公家と武家の文化が混じり合ったのは室町文化、上方の町人が担い手となったのは元禄文化、唐の影響が強いのは飛鳥・奈良時代の文化であるため、混同しないよう注意が必要である。
問9	答え 4 一揆を未然に防ぐとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を確立すること	秀吉は農民から武器を奪うことで、武力による抵抗（一揆）を不可能にし、農民を農業に専念させようとした。これにより、支配層である「武士」と、生産者である「農民」という身分の違いを決定づける兵農分離が進展しました。他の選択肢にある田畑の調査は太閤検地、キリスト教管理は江戸時代の政策、座の廃止は楽市・楽座の説明です。
問10	答え 4 古代ギリシャやローマの古典文化を復興させ、人間中心の文化を創造すること	この運動は、中世のキリスト教的な価値観に縛られた文化から脱却し、人間らしい自由な表現を求めるものでした。その際の手本とされたのが、人間性が豊かに表現されていた古代ギリシャやローマの古典文化であったため、復興を意味する「ルネサンス」と呼ばれます。他の選択肢は、宗教改革や啓蒙思想、産業革命の説明です。
問11	答え 1 天下人や大名の圧倒的な権力や富を、視覚的に周囲へ誇示するため	桃山文化は、戦国時代を勝ち抜いた大名や、経済力をつけた豪商たちの活気を反映しています。狩野永徳による障壁画は、城を訪れる者に城主の威厳や権威を強く印象づけるための政治的な役割も果たしていました。これに対し、「わび・さび」は室町時代の東山文化の特徴であり、鎖国は江戸時代以降の政策です。
問12	答え 4 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。	スペインは、コロンブスが到達したカリブ海を足がかりに、北アメリカ南部から南アメリカ大陸の大部分を支配下におきました。ただし、南アメリカ大陸の東部であるブラジルはポルトガルの領土であったため、スペインの支配には含まれません。また、東南アジアではフィリピンを拠点としており、これらは当時のスペインが「太陽の沈まぬ国」と呼ばれるほどの繁栄を築く基盤となりました。

- 問1 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指（わきざし）、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 身分統制令 2. 太閤検地 3. 刀狩 4. 楽市・楽座
- 問2 豊臣秀吉が「刀狩」を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 武士にのみ武器の携帯を許可することで、実力で主君を倒す下克上の風潮を広めるため 2. 没収した武器を溶かして通貨を作り、貨幣経済を全国に普及させるため 3. 外国から持ち込まれた鉄砲などの武器を回収し、鎖国体制を強化するため 4. 農民による一揆を防ぎ、農業に専念させることで年貢の徴収を安定させるため
- 問3 織田信長や豊臣秀吉の時代、城郭の屏風や襖には狩野永徳による「唐獅子図屏風」のような豪華で力強い絵画が描かれました。こうした華やかな「桃山文化」が栄えた時期に、茶の湯を大成させ、簡素なものに美を見出す「わび茶」の境地を確立した人物は誰ですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 近松門左衛門 2. 清少納言 3. 歌川広重 4. 千利休
- 問4 14世紀から16世紀にかけてヨーロッパで起こった、古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとする運動を何と呼びますか。この運動は科学技術の発展を促し、後の大航海時代の到来や、日本への鉄砲・キリスト教の伝来の背景となりました。（2024年 富山県公立入試 類似）
1. 宗教改革 2. 産業革命 3. ルネサンス 4. ピューリタン革命
- 問5 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 産業革命 4. 啓蒙思想
- 問6 安土桃山時代の文化を示す「南蛮屏風」には、巨大な外国船が港に到着し、洋服を身にまとった人々が日本の商人と交易を行う華やかな様子が描かれています。この時期に行われたポルトガルやスペインとの貿易に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本は生糸を主な輸出製品として、ヨーロッパの国々から金や銀などの貴金属を輸入した。 2. 日本は茶や陶磁器を輸出し、ヨーロッパからガラス製品やキリスト教の聖具を輸入した。 3. 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。 4. 日本は鉄砲や火薬の製造技術を海外へ輸出し、見返りとして大量の銀を輸入した。
- 問7 16世紀後半、織田信長が築いた城においてその形式が確立された、日本の城の中心部に位置する、展望や防御を目的とした最も高い塔状の建築物の名称として適切なものを選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 天守 2. 櫓 3. 本丸 4. 石垣
- 問8 太閤検地では、全国でバラバラだった容積の単位を統一するため、特定の大きさの「枧（ます）」が公認の道具として使われました。このように、秀吉が計測の基準を全国で統一した最大の目的は何ですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 貨幣経済を浸透させるために、米ではなく金や銀による納税を全国に義務付けるため。 2. 南蛮貿易において、輸出する銀の量を正確に測り、海外との取引を有利に進めるため。 3. キリスト教の布教を制限するために、宣教師たちが持ち込む物資の量を監視するため。 4. 全国の土地の生産力を同じ基準で把握し、農民から徴収する年貢の量を安定させるため。
- 問9 織田信長が実施した経済政策の目的と内容について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 市場での税を免除して自由な取引を認めるとともに、関所を廃止して流通を盛んにした。 2. 問屋の活動を制限し、米の売買を許可された有力な武士のみに限定して商売を行わせた。 3. 農村の余剰生産物を管理するため、各地の要所に新たな関所を設けて厳格な流通税を徴収した。 4. 特定の商人に「座」としての特権を認め、幕府への献金を強化することで財政の安定を図った。
- 問10 安土桃山時代における文化のあり方について、千利休が重んじた「わび茶」の精神やその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出すとする精神 2. 幽玄な美を追求し、面や独特の所作を用いて物語を演じる精神 3. 形にとらわれず、風景や庶民の日常生活をありのままに描こうとする精神 4. 金銀をふんだんに使い、城郭の障壁画に見られるような豪華絢爛さを極める精神
- 問11 16世紀後半における、日本とポルトガルを中心とした「南蛮貿易」の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 仏教を広めることを目的とした宣教師たちが、日本から茶や陶磁器を大量に買い付けた。 2. 産業革命を経たイギリスから、機械製品や綿布が日本へ大量に輸出された。 3. 江戸幕府の鎖国政策により、長崎の出島においてオランダとの間でのみ行われた。 4. キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。
- 問12 太閤検地がそれまでの土地制度（荘園制）と大きく異なる点について、農民との関わりから述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 土地の売買を完全に自由化し、市場価格に応じた現金を納税させる制度へと移行した。 2. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保障し、検地によってその私有地をさらに拡大させた。 3. 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。 4. 家族の人数や性別に応じて土地を割り当て、6年ごとに調査を行う仕組みを全国に広めた。
- 問13 16世紀、ポルトガルやスペインなどのヨーロッパ諸国が、危険を冒してまで日本を含むアジアへの新航路を開拓した主な理由として、当時の経済的背景を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教のみを目的としており、アジア諸国との貿易による経済的利益は全く期待していなかったため。 2. 産業革命に必要な石炭や鉄鉱石を確保し、アジア全域を植民地として直接支配するための拠点を築くため。 3. イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。 4. モンゴル帝国の崩壊により、シルクロードを通じた陸路での安全な交通が完全に失われ、生活必需品の輸入が止まったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 刀狩	豊臣秀吉は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐためにこの政策を実施しました。没収した武器は大仏建立の釘や鋸（かすがい）に使うという名目でしたが、真の目的は農民を農業に専念させ、社会を安定させることにありました。
問2	答え 4 農民による一揆を防ぎ、農業に専念させることで年貢の徴収を安定させるため	刀狩の目的は、農民から刀や脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を奪うことで、一揆（武力蜂起）の可能性を摘み取ることでした。同時に、農民を土地に縛り付けて耕作に専念させることで、政権を維持するために不可欠な年貢を確実に確保しようとする狙いがありました。
問3	答え 4 千利休	安土桃山時代には、武士や豪商の勢いを反映した豪華な桃山文化が発展しました。その一方で、織田信長や豊臣秀吉に仕えた千利休は、華やかさとは対照的な「わび茶」の作法を完成させました。選択肢にある歌川広重と近松門左衛門は江戸時代、清少納言は平安時代の人物です。
問4	答え 3 ルネサンス	「再生」を意味するこの文化運動は、人間中心の自由な考え方を尊重するものでした。この時期に羅針盤などの科学技術が改良されたことで、ヨーロッパ人が海を渡ってアジアへ到達する大航海時代が始まり、最終的に日本への新しい技術や文化の流入へと繋がりました。
問5	答え 1 ルネサンス	14世紀のイタリアでは、それまでの神を中心とした中世の考え方に対し、人間中心の生き方を目指す動きが生まれました。この動きは「文芸復興」とも訳され、古代ギリシャやローマの古典文化を理想として、絵画・彫刻・文学など多岐にわたる分野で新しい文化が創造されました。
問6	答え 3 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。	南蛮貿易は、戦国大名が軍事力を強化するために必要な鉄砲や火薬、あるいは高級品である生糸などを手に入れる重要な手段でした。日本はこれらの輸入品に対し、世界有数の産出量を誇っていた銀で支払いました。屏風に描かれた光景は、こうした物資の往来とともに、カトリックの宣教師らによってキリスト教や西洋文化が日本に流入した背景を示しています。
問7	答え 1 天守	織田信長が安土城で完成させたこの建築形式は、軍事的な拠点としての機能だけでなく、城主の権威を誇示する象徴的な役割も果たしました。選択肢にある「櫓（やぐら）」は城壁に設けられた矢を射るための小規模な建物を、「本丸」は城の最も重要な中心区画そのものを指します。これらは天守を支える、あるいは天守が位置する要素ですが、建物そのものの名称は天守です。
問8	答え 4 全国の土地の生産力を同じ基準で把握し、農民から徴収する年貢の量を安定させるため。	太閤検地以前は、地域や領主によって測定に使う杵の大きさが異なっていたため、全国的な経済力の把握が困難でした。秀吉は「京枴（きょうます）」という規格に統一することで、全国どこでも同じ基準で収穫量を測れるようにしました。これにより、土地の面積や良し悪しに応じた正確な「石高」を算出でき、政権の財政基盤となる年貢を確実に公平に徴収することが可能になりました。
問9	答え 1 市場での税を免除して自由な取引を認めるとともに、関所を廃止して流通を盛んにした。	信長は城下町を繁栄させて自らの勢力を強化するため、市場の税を免除し、特権的な商工業者の組合である「座」を廃止する「楽市・楽座」を行いました。これとあわせて、交通の要所にあった関所を撤廃することで、人や物の自由な往来を阻む壁を取り除き、商工業の活性化を通じた富国強兵を目指しました。
問10	答え 1 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出そうとする精神	桃山文化は、壮大な城郭や豪華な金碧障壁画などに代表される一方で、千利休によって確立された「わび茶」は、余計な飾りを削ぎ落とした質素な美しさを追求しました。これは茶の湯の作法を単なる娯楽ではなく、精神的な修行の域まで高めたものです。金銀の装飾は桃山文化の別の側面（権威の象徴）であり、風景や日常の描写は江戸時代の浮世絵、幽玄の美は室町時代の能楽の特徴を指します。
問11	答え 4 キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。	ポルトガルやスペインとの貿易は、カトリックの布教活動と密接に結びついていたため、南蛮貿易と呼ばれます。当時、石見銀山などで産出量が増大していた銀が日本の主要な輸出資源となり、軍事技術としての鉄砲や、その運用に必要な硝石が輸入されました。オランダとの出島貿易は17世紀以降の出来事です。
問12	答え 3 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。	太閤検地では「一地一作人（いっちいっさくにん）」の原則が導入されました。中世の荘園制では一つの土地に複数の権利者が重なっていましたが、検地帳に実際の耕作者を直接登録することで、農民の耕作権を認める代わりに、その農民に直接年貢を納めさせる責任を負わせました。これが後の兵農分離を加速させ、江戸時代の幕藩体制の基礎となりました。
問13	答え 3 イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。	当時、コショウなどの香辛料をはじめとするアジアの特産物は、イスラム商人が仲介してヨーロッパへ運ばれていたため、非常に価格が高騰していました。ポルトガルやスペインなどの国々は、これらを安く、かつ大量に直接手に入れることを目的として、海路による新航路の開拓に乗り出しました。キリスト教の布教も目的の一つではありましたが、その背景には強い経済的動機がありました。

- 問1 16世紀から17世紀にかけて、日本の石見銀山で産出された銀が果たした役割について、当時の国際情勢を踏まえた説明として最も適切なものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 銀は国内の通貨不足を補うために、海外への輸出が厳しく制限され、すべて国内の金座で管理された | 2. 銀は当時の日本にとって主要な輸入商品であり、見返りとして日本からは大量の茶や磁器が輸出された | 3. 産出された銀は主にポルトガルや中国(明)へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた | 4. 石見銀山の銀は、軍事同盟の証としてヨーロッパ諸国の王室へ直接贈呈され、外交交渉の主導権を握るために使われた |
|--|---|---|--|
- 問2 16世紀のヨーロッパでは、ローマ・カトリック教会の腐敗を批判し、信仰のあり方を問い直す大きな運動が起こりました。ドイツのルターが免罪符(贖宥状)の販売を批判したことから始まったこの運動の内容と影響について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. フランスにおいて、市民が絶対王政を倒して人権宣言を発表し、キリスト教を国教から除外する政治改革が行われた。 | 2. ルネサンスの精神に基づき、キリスト教の教えを一切否定して、科学と理性のみを信じる世俗的な社会が形成された。 | 3. カトリック教会の権威を高めるために、教皇の呼びかけで聖地エルサレムを奪還するための軍隊が派遣された。 | 4. ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。 |
|--|--|---|---|
- 問3 織田信長が「楽市・楽座」の政策を推進した主な狙いとして、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. キリスト教の布教を全面的に禁止し、仏教勢力との結びつきを強めるため。 | 2. 座による独占販売や市場での税を廃止し、城下町に多くの商人と物資を集めるため。 | 3. 農村の人口調査を正確に行い、年貢を効率よく徴収する仕組みを整えるため。 | 4. 特定の有力な商人に独占権を与えることで、幕府から多額の献金を得るため。 |
|---------------------------------------|---|--|--|
- 問4 15世紀から16世紀にかけて、ヨーロッパの人々がアジアへの直接の航路を切り拓こうとした背景について述べた文章において、当時の人々が求めていた交易品とその目的の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 寒冷な気候に対応するため、アジアで生産されていた羊毛や綿織物を独占的に輸入するため | 2. 肉の保存や味付けに不可欠であり、当時非常に高価だった香辛料を、イスラム商人などを介さず安く手に入れるため | 3. ヨーロッパで不足していた鉄鉱石をアジアから輸入し、新兵器である鉄砲を大量に生産するため | 4. アジアの進んだ造船技術を学び、ヨーロッパ周辺の浅瀬での航行をより安全にするため |
|--|---|--|--|
- 問5 16世紀の日本において、和泉国(現在の大阪府南部)に位置し、有力な商人たちが合議制によって運営を行った自治都市を何と呼びますか。この都市は、当時の宣教師によって海に面し周囲を深い堀で囲んだ堅固な町として紹介され、「東洋のベニス」とも称されました。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|------|
| 1. 博多 | 2. 長崎 | 3. 今井町 | 4. 堺 |
|-------|-------|--------|------|
- 問6 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指(わきざし)、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|---------|----------|
| 1. 楽市・楽座 | 2. 刀狩 | 3. 太閤検地 | 4. 身分統制令 |
|----------|-------|---------|----------|
- 問7 15世紀末から16世紀にかけて、ヨーロッパ諸国が海外へ進出した「大航海時代」に関する記述として、1492年に西回りでアジアを目指しインド諸島に到達したコロンブスが、アジアから直接入手することを最大の目的としていた産物はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 鉄砲 | 2. 毛織物 | 3. 香辛料 | 4. 絹織物 |
|-------|--------|--------|--------|
- 問8 15世紀末、スペインの援助を受け、大西洋を西へ航海してカリブ海の島々に到達し、そこをインドの一部であると信じた人物は誰ですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|------------|----------|
| 1. マゼラン | 2. バスコ・ダ・ガマ | 3. マルコ・ポーロ | 4. コロンブス |
|---------|-------------|------------|----------|
- 問9 15世紀末の大航海時代にインド航路を開拓したバスコ・ダ・ガマの活動よりも、時間軸において「前に起きた出来事」と「後に起きた出来事」の組み合わせとして適切なものはどれか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 前に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣 / 後に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 | 2. 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：マルコ・ポーロによる東方見聞録の執筆 | 3. 前に起きたこと：ルターによる宗教改革の開始 / 後に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 | 4. 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣 |
|--|---|--|--|
- 問10 1221年に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして起こした承久の乱において、北条義時を中心とする幕府側が勝利したことでもたらされた政治的な変化として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉に武家政権が樹立された | 2. 六波羅探題が京都に設置され、朝廷の監視や西国武士への統制が強まった | 3. 執権の役職が廃止され、將軍による専制政治が再び確立された | 4. 守護・地頭の設置が初めて認められ、全国の土地管理が幕府に委ねられた |
|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 パテレン追放令が出された時期について、日本の歴史上の出来事を示した年表の流れに沿って説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 豊臣秀吉が全国を統一する過程で発令されており、徳川家康が征夷大將軍となって江戸幕府を開くよりも前の出来事である。 | 2. ベリーの来航によって開国した後、明治政府が五榜の掲示を出してキリスト教を禁止した際の法令である。 | 3. 織田信長が室町幕府を滅ぼす直前に、仏教勢力の力を弱めるためにキリスト教を保護しようとして発令した出来事である。 | 4. 徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利した後、幕府の支配体制を固めるためにスペイン人宣教師を追放した出来事である。 |
|---|---|--|---|
- 問12 15世紀から16世紀にかけて、ポルトガルがアフリカ大陸を南下し、喜望峰を回ってインドへ向かう航路を熱心に探索した主な目的は、どのような背景によるものですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 地中海貿易の中心であったイタリアの諸都市と協力して、アジアの絹織物を独占するため | 2. キリスト教の布教を目的として、日本や中国への最短ルートを確認するため | 3. アメリカ大陸にあると信じられていた巨大な銀山を、スペインよりも先に発見するため | 4. 高価な香辛料を、イスラム勢力を仲介せずに直接インドから調達して利益を上げるため |
|---|---------------------------------------|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 産出された銀は主にポルトガルや中国（明）へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた	石見銀山で増産された銀は、日本の歴史だけでなく世界史においても重要な位置を占めています。当時、世界で流通する銀の約3分の1が日本産であったと言われる時期もあり、その多くが石見銀山によるものでした。この銀はポルトガル船による南蛮貿易や、中国との交易（生糸の購入など）の主要な決済手段として使用され、東アジアやヨーロッパを含む広範な経済圏を支えました。
問2	答え 4 ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。	16世紀、ドイツのルターは、教会が資金集めのために販売していた「免罪符（贖宥状）」を批判し、人間が救われるのは教会の儀式ではなく聖書に記された神の言葉を信じることのみであると主張しました。これが宗教改革の始まりであり、従来の旧教（カトリック）に対して新教（プロテスタント）が成立するきっかけとなりました。
問3	答え 2 座による独占販売や市場での税を廃止し、城下町に多くの商人と物資を集めるため。	「座」の特権を認めると、特定の商人しか市場で取引ができず、流通が滞る原因となっていました。信長はこれを廃止し、さらに市場の税（関銭など）を免除することで、自由で活発な経済活動を促しました。その目的は、自らの城下町を繁栄させ、軍事や政治を支える強固な経済基盤を確立することにあります。
問4	答え 2 肉の保存や味付けに不可欠であり、当時非常に高価だった香辛料を、イスラム商人などを介さず安く手に入れるため	当時のヨーロッパでは、食肉の保存や風味付けに用いられる香辛料が非常に高価な貴重品として扱われていました。それらはイスラム商人やイタリアの都市を介して取引されていたため、大西洋に面した国々は中継貿易を介さずにアジアと直接取引を行うことで、利益を独占し安価に入手することを目指しました。
問5	答え 4 堺	堺は会合衆（えごうしゅう）と呼ばれる36人の有力商人によって運営された自治都市です。戦国時代の動乱から町を守るために、周囲に深い堀を巡らせた「環濠都市（かんごうとし）」としての特徴を持ち、海外貿易の拠点として莫大な富を蓄えました。当時の宣教師ガスパル・ヴィレラなどもその繁栄と独立性の高さを記録に残しています。
問6	答え 2 刀狩	豊臣秀吉は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐためにこの政策を実施しました。没収した武器は大仏建立の釘や鋸（かすがい）に使うという名目でしたが、真の目的は農民を農業に専念させ、社会を安定させることにありました。
問7	答え 3 香辛料	当時のヨーロッパでは、肉の保存や味付けに不可欠なコショウなどの香辛料が極めて高値で取引されていました。それまで香辛料の貿易はイスラム勢力やイタリアの都市国家が独占しており、仲介手数料によって価格が高騰していたため、スペインやポルトガルなどの国々は、アジアの産物を安く直接入手できる新しい航路の開拓を強く求めています。
問8	答え 4 コロンブス	スペインのイサベル女王の援助を受けたコロンブスは、地球球体説に基づき、大西洋を西回りに航海することでアジアへ到達しようとしていました。1492年に現在のカリブ海にある島々に到達しましたが、彼はそこをアジアの一部（インディアス）であると誤認していました。同時代のポルトガルの支援を受けた航海者たちとは、目指したルートが異なります。
問9	答え 4 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣	バスコ・ダ・ガマがインドに到達したのは1498年である。それより前の11世紀末から始まったのが中世の十字軍の派遣であり、それより後の1582年に日本の九州の大名らによって派遣されたのが天正遣欧少年使節である。マルコ・ポーロの活動は13世紀であり、ガマより前であるため誤りとなる。
問10	答え 2 六波羅探題が京都に設置され、朝廷の監視や西国武士への統制が強まった	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配力が弱かった西国への影響力を高めました。京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し、さらに上皇側の領地を没収して幕府側の御家人を地頭に任命することで、支配力を全国的なものへと拡大させました。
問11	答え 1 豊臣秀吉が全国を統一する過程で発令されており、徳川家康が征夷大將軍となって江戸幕府を開くよりも前の出来事である。	パテレン追放令は、秀吉が九州を制圧した直後の1587年に出されました。これは1590年の全国統一達成や、1603年の江戸幕府成立よりも前に位置します。秀吉の死後、実権を握った徳川家康やその後の将軍たちは、より厳しい禁教へと政策を強めていくことになります。
問12	答え 4 高価な香辛料を、イスラム勢力を仲介せずに直接インドから調達して利益を上げるため	当時、コショウなどの香辛料は非常に高価で取引されていましたが、陸路や地中海を通るルートはイスラム教徒やベネチアなどのイタリア商人によって独占されていました。ポルトガルはアフリカ経由の海路を自ら切り開くことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ようとした。